

聖学院大学研究公正委員会 主催
 聖学院大学総合研究所 競争的資金獲得・コンプライアンス促進のための研究会 共催
 2021年度 公正な研究活動の推進におけるコンプライアンス教育研修会
 「人文・社会科学分野における責任ある研究実施」

2022年2月9日（水）に「公正な研究活動の推進におけるコンプライアンス教育」研修会がオンラインの形式で開催された。講師として信州大学医学部公正研究推進講座の野内玲先生をお招きした。当研修会は、文部科学省「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」平成19年2月15日文科科学大臣決定の平成26年2月18日付改正に伴い、各機関における不正防止のためのコンプライアンス教育の実施が義務づけられたことを受けて実施されたものである。当日の参加者は100名であった。また、欠席者および研究協力者等に対しオンデマンド配信等による視聴およびアンケート回答を促した結果、最終的な出席率および、アンケートの提出率は100%となったということも合わせて報告しておく。

以下に研修の主な内容を記す。

1. 2021年度研究公正に関するアンケートの解説

本学において2021年10月から11月にかけて実施されたアンケート結果について、講師による解説・評価を含めながら紹介された。引用ルールの順守、他人のアイデアの盗用やオーサーシップの問題について本学の対象者においては理解が進んでいる状況がみられた。オーサーシップの問題は判断が難しいところもあるが、ICMJJE（International Committee of Medical Journal Editors）の基準ではかなり厳しい基準が設定されていることも示された。

2. 研究の透明性と客観性

研究の成果発表、実施手順、対象、社会との関係といったところにおいて研究公正を危うくするものが多数あることが紹介された。捏造、改ざん、そして盗用というFFPは研究不正として私たちもよく認識するところである。しかし、FFPだけでなく、私たちの認識が薄くなりがちだが不正へとつながりかねない行為であるQRP（Questionable

Research Practice）も多数存在する。またQRPのような「問題のある行為」というよりも「有害な行為」であるDRP（detrimental research practice）としてさらに議論が進んでいる状況であることも理解された。どのような行為がQRPやDRPであるのかを把握し、防止することが各研究者に求められるわけであるが、研究機関やジャーナルを発行する組織体などによる防止に向けた取り組みも非常に重要となる。責任ある研究行為を確保するために、「研究活動の実施に際し、研究者個人・研究機関として、多様な側面から公正性・倫理性を担保する必要がある」という講師の言葉は肝に銘じたい。

3. 研究倫理審査委員会

研究成果の客観性や利益相反の問題についてはオープンであることで公正性が担保される。そのため各研究機関における研究倫理審査委員会（本学では研究倫理委員会）が重要となる。「人を対象とする生命科学・医学研究に関する倫理指針」（2021年6月30日施行）においても研究倫理審査委員会の審査を受けることが明示されている。さらに、同指針に示されている「研究の質及び透明性を確保すること」という点についても、研究倫理審査委員会がその確保に向けた助言等の支援を行う事例があることも示された。また、透明性の確保に向けては、生データの提出、公開もその手段のひとつとなりうるため、人文社会学の領域でも今後さらに活用されることとなるだろう。



講師：野内玲先生

司会：西村洋一教授

4. 研究の公正な実施に関する取り組み

日本や世界における研究公正に向けた複数の取り組みについて紹介された。アムステルダムアジェンダや香港原則は研究公正に向けた評価軸を提供しており、今後取り組み内容や成果を共有していくことの必要性が示された。加えて、研究公正を揺るがす要因として研究者の評価のあり方について、より多様な観点から評価されるべきという形で見直しが進んでいるという現状もおさえておく必要がある。また、研究不正を働く研究者を検出し、罰を与える、そしてそのための対応を外部に評価してもらおうというある種の受け身の姿勢ではなく、研究公正を担保することが研究者個人としても研究機関としてもよりよい研究実践につながっていくという前向きな姿勢で取り組むこと、そこにインセンティブを求めることが重要である。

講演終了後に講演内容を踏まえつつ研究公正、研究倫理に関する質疑応答が行われ、日頃の研究実践にかかわる具体的な質問が多くなされた。講演と質疑応答を踏まえ、研究公正、研究倫理について考えを深めるよい機会となった。講演の中にもあったように、研究者個人あるいは研究機関として、常に情報をアップデートしながら議論を継続していくことが望まれる。

(文責：西村洋一 [にしむら・よういち] 聖学院大学心理福祉学部教授、競争的資金獲得・コンプライアンス促進のための研究会代表補佐)

本

書籍のご案内

お近くの書店、Amazon.co.jpからお買い求めいただけます。

ヨーロッパ文化と日本文化

—人間の自己理解から学ぶ

<Veritas Books>

金子晴勇 著

2021年12月1日発行
1,980円 (10%税込)

学術講演集。霊性の機能の観点から愛や死生観、人間の自律・自由などを把握する。



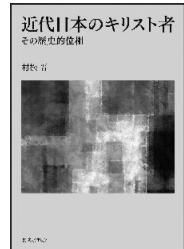
近代日本のキリスト者

—その歴史的位相

村松 晋著

2020年12月25日発行
4,950円 (10%税込)

近代日本におけるキリスト者の信仰・思想を、時代社会をふまえ内面的に明らかにする。



安全性とリスク

—正しく認識し、正しく問うために

標 宣男 著

2021年12月10日発行
3,850円 (10%税込)

「リスク」：専門化され細分化される現代科学技術を理解するためのキーワード。



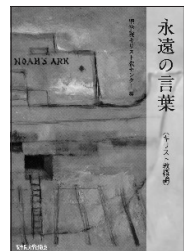
新刊

永遠の言葉<キリスト教概論>

聖学院キリスト教センター 編

2022年4月20日発行
2,640円 (10%税込)

人生の糧となり、指針となり、救いへの招きとなる一冊。



聖学院大学出版会 TEL:048-725-9801 FAX:048-725-0324
URL:https://www.seigypress.jp